

人間関係学科 あいあいタイム 恵我南小学校3年 第3パッケージ

めざせ言葉かけ名人

1. 本パッケージのねらい

クラス替えから2ヶ月半。子どもたちは、新しい友だちとも仲良くしゃべったり、遊んだりするようになってきた。そうじや給食当番の仕事を一緒にがんばったり、勉強を教え合ったりする姿も見られるようになってきている。しかし、まだまだ、「～しよう。」「本を見せて。」などと自分から声をかけることができない児童や、気持ちがあってもそれを言葉に表現するのが苦手な児童が多い。また、だんだん仲良くなってくると、わがままなことを言ったり、相手の気持ちを考えないできついことを言ってしまったり、自分勝手な行動をとったりする児童もいる。このパッケージでは、いろいろな場面で温かい言葉かけを考えることを通して、友だちとよりよい人間関係を築くきっかけにして欲しい。

2. 『めざせ言葉かけ名人』パッケージ全体を通しての目標（ターゲットスキルとねらい）

* 対人関係

- ・まわりの友だちとよりよい人間関係をつくる。

* 共感性

- ・友だちの気持ちを考える。

* コミュニケーション力

- ・友だちと気持ちを伝え合うことができる。

3. 『めざせ言葉かけ名人』パッケージ全体の流れ

第1時・・・「どんな言葉を使ってる？」

アイスブレーキング：連想ゲーム

メインエクササイズ：チクチク言葉・ふわふわ言葉

第2時・・・「おぼえてね、大事な言葉」

アイスブレーキング：ハイ、イハ

メインエクササイズ：マナー名人をめざそう

第3時・・・「大事にしたい言葉かけ1」

アイスブレーキング：リズムしりとり

メインエクササイズ：「『ごめんね』をうまくつたえよう」

第4時・・・「大事にしたい言葉かけ2」(本時)

アイスブレーキング：食べ物パンパン

メインエクササイズ：「『ありがとう』をうまくつたえよう」

4. 実施時期

2009年5月26日(火)～6月18日(木)

第4時 「大事にしたい言葉かけ2」

【本時のターゲットスキル】

対人関係 共感性 コミュニケーション

【本時のねらい】

- 1) 困っている時に助けてくれた友だちへ、上手に言葉かけをすることができる。
- 2) 友だちとのよりよい人間関係を築いていこうとする。

【エクササイズ】

アイスブレーキング：食べ物パンパン

メインエクササイズ：「『ありがとう』をうまくつたえよう」

【本時の流れ】

	時間	活動の流れ（教員の教示・子どもの反応と動き）	留意点・教具等
ウォーミングアップ	2分	食べ物パンパン 食べられるパンの名前が出てきたら手を打つ。	楽しい雰囲気をつくる。
インストラクション	8分	だれかを助けてあげてお礼を言われたときのことを思い出す。 お礼の言葉のかけ方にチャレンジしよう。 助けてくれた友だちに「ありがとう」という場面を用意し、気持ちを伝えるためにどのような言葉かけがよいかを考える。 体育館に忘れた帽子を友だちが届けてくれました自分ならどうするか考えてみましょう。 黙って受け取る場面 「ありがとう」とお礼を言う場面 お礼に具体的な言葉を添えて言う場面 他にどんな言葉かけがいいか考える。 お礼の言葉かけのポイントを確認する。 近づく 目をきちんと見る 聞こえる声で言う。 笑顔で優しく言う + お礼の気持ちを表す言葉	日常的な問題場面を用意し、子どもが問題意識をもつようになる。 教師が、ロールプレイを通して、問題場面を提示する。 一つ一つの場面で子どもたちに感想を聞く。帽子を受け取る方の行動や言葉に注目させる。その上で具体的な行動や言葉のポイントがわかるように進める。 どんな意見も肯定的に認め、ポイントをまとめていく。 非言語的（近づく、目を見る、笑顔） 言語的（聞こえる声優しく言う）の両方のポイントを示す。

エクササイズ	20分	<p>ワークシートにお礼の言葉かけを考えて書きましょう。</p> <p>班でお礼の言葉かけを練習しましょう。</p> <p>良かった点やこうした方がいいと思った点を言い合いましょう。</p> <p>気持ちを上手に伝えられた人に、前に出てきてやってもらいましょう。</p> <p>どんなところがよかったです。</p> <p>お礼を言われた子は、どう思いましたか。</p>	<p>自分で考えたお礼の言葉かけをワークシートに書かせる。</p> <p>班で教え合う。</p> <p>班で練習する。</p> <p>「ありがとう」の気持ちを込めて言わせる。</p> <p>お礼を言う役と言われる役は立って練習する。</p> <p>順番に時間を切って練習させる。</p> <p>お礼を言った子、言われた子の気持ちを発表させる。</p>
シェアリング	15分	<p>本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>振り返りカードの交流をする。</p> <p>学習のまとめをする。</p>	<p>一つの言葉を添えることでお互いにうれしい気持ちになることを気づかせる</p> <p>今後も、あたたかい言葉かけをしていく意欲をもたせる。</p>

〔参考文献〕

『実践！ソーシャルスキル教育』(図書文化)